

歴代会長

初代 荻村 孝之助 氏	四代 今村 徳重 氏	
二代 横山 慎次郎 氏	五代 高木 清次郎 氏	
昭和二年から終戦まで・戦後二三年より	六代 伊東 清治 氏	以上物故者
三代 伊東 幸吉 氏	七代 川野邊 次男 氏	

町会の沿革

上高田隣人協力会（上高田三丁目町会）は、周囲を上高田一丁目町会から上高田五丁目町会に囲まれ、その真ん中に位置します。町会の歴史は古く、昭和二年に『隣人会』が創設され、終戦まで続きましたが、占領政策により解散の憂き目に遭いました。昭和二十三年に自治会設置の要望があり、名前も『隣人協力会』とし、町会自治会として再発足しました。歴代役員諸氏の献身的尽力と、町会員の理解と協力を得て、終戦後数百戸だった町会も二千世帯と、今日の隆盛を見るに至りました。皆様の協力のもと、役員以下町会員の奉仕の精神が旺盛で、各種行事には積極的に参加して頂いており、防災防火、防犯、環境、交通各部の活躍は、都、区などの表彰、感謝状等数知れず、青少年育成のための『子供と共に進む会』、高齢者を大切にする『隣友会(老人会)』、常に先頭に立って町会行事の一端を担う『青年部』、『婦人部』、を設け、町会運営を円滑にしています。

町の変貌

戦争が終わり、隣人協力会はたいした戦火に見舞われず、復興も早く『上高田本通り商店街』と『薬師駅前商店街』が出来て、近所での買物が出来、大いに賑わいました。しかし近年では大規模商店、コンビニの出店で個人商店は次々と閉店し、淋しくなりました。反面住居地となり、ワンルームマンション、アパート、下宿屋等が林立し、人口の増加を見えています。町内での幼い子供達の遊び場、高齢者の癒しの場所等が不足勝ちで、現在高齢者会館、学校の校庭等を利用していますが、町内にそれに相応しい環境が保持された施設が欲しいのが実情です。また私達の町には、童謡でおなじみの『たきびのうた』の発祥の地があり、家を囲む竹垣と樹齢三百年を越す櫻の大木、木々の間を吹き抜ける風の音は、忘れ去られた子供の頃の懐かしい遊びや情景を思い出させてくれます。そんな場所に多方面から見学者が多数訪れます。NHK TV『ご近所の底力』に出演しました。テーマは『ごみ問題について』。環境面で全国に話題を提供、町会員各位から地域の環境に関し理解と協力を得て、運動に対する賛辞を頂きました。

特色のある町会活動

隣人会館を拠点に、秋には氷川神社の祭礼。太鼓山車、神輿を町会巡行します。冬には町会設置から奉仕の精神で、毎年1月いっぱい『夜警』を実施し、入居者が多く、新陳代謝が激しいため防火、防災、防犯の上から注意を喚起しています。当町会では町会費を出来るだけ値上げせず、運営しています。これは資源回収の報奨金等で町民の負担を軽減しているからです。



上高田隣人協力会 氷川例大祭半纏